

74 新破天荒

令和 四年度版
創刊 第一号

破天荒とは、本来、「今まで人がなし得なかったことを初めて行うこと」、「前人未到の境地を切り開くこと」という意味を持ちます。二度と学年を背負うことなどないと思っておりましたが、このたび七十四回生一学年主任を仰せつかった荒内秀明です。相生高等学校から転勤してまいりました。本日晴れて姫路南高等学校への入学を許可された新入生の皆さん、保護者の皆様。改めまして、ご入学おめでとうございます。これからの三年間、皆さんと、共に笑い、共に感じ、共に高め、歩んでいきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

この学年団は、姫路南高を熟知している集団です。私を含め、若干名は七十四回生と同じく、姫路南高に染まっていく必要がありますが、姫路南高生の、真面目で素直な心を大切にできる集団です。また、今年度より、成績の評価であったり、科目名等が変更になることもあり、各々に対して取り組み方が何ら変わるわけではなく、真摯に己の人的成長を成し遂げるための手段が、少し変更するとうだけのことなのですが、変化する場面に出会うものに対して、世間は注目をします。

その意味で、皆さんは、これからの姫路南高の礎になっていく回生です。まさに、今までの学びを踏襲しつつ、前人未到の境地を切り開いていく「新破天荒」な回生なのです。

教師も生徒も、未知なる世界の不安感の中にも、期待を抱きながら、皆さんを高めるさらなる工夫が必要になります。

だからこそ、

「やればできる」

と言われないこと

「やってできたよ」

「やったからこんなものを新たに知ったよ」

と言えるようになること

そんなチームに育っていつてもらいたいと思います。つきましては、保護者の皆様にも、「チーム74」の一員として、共に歩んで頂きますようお願いいたします。お子様とともに、我々教師とともに、喜び、悩み、叱咤激励を頂くと共に、七十四回生にとつての一番の応援団であり、サポーターでいて下さい。

今の生徒たちの前に、簡単に進んでいける道は当然ありません。だからこそ、苦しいが、面白い。自らが進もうとしているから、苦しみを感じ、悩みを感じることを理解してあげて下さい。苦しむ姿を前にして、見守ることは苦しいし、目の前に道を開いてやりたい。そう感じるのは、親であればある意味当たり前です。

その気持ちと闘いながら、熱いが冷静に、大きく温かい懐で生徒自身の成長を想ってやって下さい。

自ら学び、歩む姿を思い描いて、時々、気付かない程度に、生徒の背中を一押ししてやってもらえますでしょうか。

すべては

三年先のジャンプをするときに

後悔がないように

「チーム74」の応援、よろしくお願いします。

学年主任 荒内秀明 (数学)

(含む 所信表明)

4月の予定

8日(金)	入学式
11日(月)	対面式・生徒総会・課題考査
12日(火)	スタディサポート
13日(水)	オリエンテーション
	授業

19日(火)	教育相談
21日(木)	内科検診(3クラス)
22日(金)	尿検査
26日(火)	教育相談
28日(木)	内科検診(2クラス)
29日(金)	昭和の日
	からゴールデンウィーク

5月は

2日(月)	6日(金)	は登校日です
17日(火)	20日(金)	中間考査(予定)

どころで なりたじ自分って？

入学式を前に、教科の課題、作文の宿題がありました。中学校の復習を主とした内容だとは思いますが、高校生活からスタートだったとしたら、少し悲しいものがありますね。作文については、原本もしくはコピーを返却したいと思えます。今一度、自分が書いた文章を読み直して、そこに相手に伝わる自分の想いが載せられているかを、分析してください。

「一度で」

「二度目で」

「繰り返す」

「やる！ したいではない」

5日提出・本日提出を果たすべきものを、「忘れた」人は、この三年で身につけるべきものが何かを明確にすることができたところから本校での生活をスタートすることができず。後は、思うところで留まらず、実行をする力を身につけていくだけです。

「一度で」したよと言う人は、一度目でちゃんと成果を得ていますか？やる以上は、見返りを求めてください。でなければ、ノルマを果たすだけの面白くない人になってしまいます。

例えば小テスト。一度目で成果を得るために、繰り返し準備をすることを選ぶか、とりあえず受けて、二度目の追試で必ず受かるとか、何度も追試を受けたり、ついでに罰書きとも感じられるような繰り返し作業をするか。

さて、どちらが前向きな気持ちで自分に見返りを返せると思えますか。

こんな話をした後、「どう考えるか」を問いかけると、ほとんどの人は「したいと思う」と言う答えが返ってきます。思うことはもちろん大切ですが、「思うだけ」では手に入れることはできません。

感 即 動

想い感じれば、すぐに動くこと。人は正解を導きたいと思つて動くものです。だから、頭で考えることから始めると、なかなか行動につながりません。

やる！

ためには、一本の道で進み続けてできるわけではない。感じたらすぐに動き、目の前の失敗を積み重ねることは実は貴重な経験値を積み重ねていたことであつたと気付くのは、まだ先の、ある達成感を得た瞬間に感じることなのです。

さあ、その勇気を持つことが、その勇気を持つ覚悟が決められますか？

頑張らねばと思わなくてよい やるべきことの「一歩目」を 大切にしよう

皆さんも経験がありますよね。一歩目って大切とわかっていても、踏み出すには勇気と労力が尋常ではない。

「不安」を感じた人は、3年間大丈夫。充実した日々を過ごせます。不安と向き合って毎日を過ごしてください。

「面倒くさい」と感じた人は、与えられた課題はクリアし続けると思えます。加えて、毎回の課題をこなす度に一つだけ、課題以外の自分課題(十一問する、一文覚えるなど)をする習慣をつけていきましょう。

「何も感じない」人は、あつという間に毎日が過ぎていきます。長い人生です。自分を鍛える時間の喪失は、もったいない限りです。何かに「熱さ」(勉強でなくてもよい)をまず感じるところから始めましょう。

一日(月)には卒業する「自分」に向けて、いまの「自分」から手紙を送ってもらいます。卒業するときその手紙を読んだときに感じる気持ち、あなたの姫路南高校での三年間です。

三年間、自分を鍛える基礎となる日々で、その先にさらなる自分を鍛錬する道が拓けた卒業を迎えられる、生徒・保護者・教師・諸々の応援団が一体となった日々が過ごせるよう、日々の生活を充実させていきましょう。

学年団紹介

および メッセージ

一学年副主任 および

一組担任 井上三帆（英語）

74 回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。あなたたちは今、姫路南高校、つまりあなたたちのいるべきところにいます。これまでの人生で起こったこと全てが、ここへ導いてきてくれました。

今日は、心を開いて新しい可能性にめぐりあう絶好のチャンスです。

歩いたことのない道を歩こう。ワクワクすること、見つけてみよう。今まで聞いたことのない声に耳を澄ましてみよう。今日は一日、笑顔で過ごさず、と決めてみよう。

きっと大丈夫。今日の終わりに、夕日をじっくり眺めて、今日は頑張った、と思つて、明日も会いましょうね。



二組担任 名村香織（英語）

ご入学おめでとうございます。初めまして、名村香織です。教科は英語、部活動は箏曲部と茶華道部です。よろしくお願ひします。

どんな高校生活が待っているのか、皆さんはきっとドキドキしていることでしょう。学習、部活動、学校行事などを通して、今までよりもっと広い世界を経験していくこととなります。その際、とても大切なのが「繋がり」です。繋がりとといっても SNS や LINE という意味ではなく、「ご縁を大切にする」ということです。人とのご縁はもちろんですが、決して、人ばかりではありません。今まで挑戦したことなかったスポーツや楽器、本、色んな出会いが待っています。実際、私が高校生の時に出会った友人の中には、今でもずっと仲が良い人もいますし、偶然同じ学校に教師として勤めることになった友人もいます。また、高校時代に挑戦した海外でのホームステイの経験が、私の英語好きに繋がりました。何が「出会い」となり、良い「ご縁」を与えてくれるかわかりませんが、多くのことに挑戦し、ぜひ世界を広げてほしいです。

三組担任 寺脇響彦（数学）

74 回生のみなさん、入学おめでとうございます。3 組担任の寺脇響彦（てらわきおとひこ）です。趣味はサッカーでサッカー部の顧問をやっています。特技は高校時代より始めたドラムです。よろしくお願ひします。

皆さんは高校生としてどのような決意で今日の日を迎えられたでしょうか。長い人生の中で高校の3年間というのは、非常に大切な時期です。時間を無駄にせず、悔いのない高校を送ってもらいたいです。これから始まる高校生活は決して楽しいことばかりではなく、戸惑うことも苦しみむこともあるでしょう。しかし、その先には、自分を成長させてくれるものが必ず存在します。簡単に諦めたり、投げ出したりせずに、前向きに挑戦していただくさい。

共に新しいことに挑戦していく3年間にしていきたいと思います！

四組担任 渡会雄士 (保健体育)

74 回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。1 年 4 組の担任をします、渡会雄士 (わたらいかずと) です。教科は保健体育です。

私も姫路南高校 1 年目です。どうぞよろしくお願い致します。

「人は会うべき時に会うべき人と出会っている。」

これは前任校でお世話になった先生に教えていただいた言葉ですが、こう考えると自分の人生が豊かになるのではないかと思ひ、今でもこの言葉を大切にしています。姫路南高校での出会いを大切にしてください。すべての出会いに意味があると思えたら、彩り豊かな高校生活になるのではないのでしょうか？クラスメイトだけでなく、同じ学年の生徒、先輩、後輩、先生、地域の人など、多くの人と関わり合い、出会いの中で大きく成長していきましょう。

私も皆さんとの出会いを大切に、皆さんの進路実現に向けて、時に優しく、時に厳しく、時に楽しく、熱意を持って向き合っていきます。

一緒に成長できる 3 年間にしましょう。

五組担任 大谷睦美 (国語)

初めまして。大谷睦美です。5 組担任、担当教科は国語、女子バスケットボール部顧問です。私は姫路南高校は 5 年目となりますが、その間、多くの生徒の皆さん、先生方との出会いを通して、様々なことを学び続けています。

つい最近では、この春巣立った卒業生、つまり皆さんの先輩方が、受験を振り返って残してくれた体験記を一つ一つ読みながら、改めて、教えるにも学ぶにも、努力すること、継続することが大切だと実感しました。

高校に入学し新しいスタートを切ろうとしている皆さん、誰にも、いつでも、どこにでも「学び」の機会があります。広い視野で遠くや周りをしっかり見まわして、頑張っている人を見つけたら、是非仲良くなりましょう。みんなで「学び」の輪を広げましょう。

そして、全員で、(もちろん私も!)一緒に、コツコツと、諦めることなく、思う存分この姫路南高校で、学び続けましょう。まずは 1 年間、よろしくお願いいたします。

副担任 押切孝雄 (地歴公民)

74 回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。はじめまして、学年副担任の押切です。教科は地歴公民、歴史総合の授業でお世話になります。

皆さんは高等学校という新しい環境で期待と不安に胸を膨らませていることと思います。これから新しい友人との出会いを大切に、この姫路南高校での充実した高校生活を送られることを期待します。さて、人生とは順風満帆な場面だけではありません。時には壁にぶつかることもあるでしょう。ラグビーという競技、ご存じですか。ボールを前に投げると反対となります。それでも仲間とパスをつなぎ、ゴールラインを目指します。何度か相手のディフェンスに阻まれても、「前へ」進みます。皆さん、少々上手くいかないことがあっても何度でもチャレンジする強い気持ちを持って、仲間への思いやりとともに乗り越えられる強い人間になってください。

” One for all, All for one! ”